

令和6年度地域・日本の新たなレガシー形成事業 戦国最強の武将「上杉謙信公」の魂が眠る 戦国最強の山城「春日山城」の復元実現可能性調査

■事業概要■

将来にわたって国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につながるよう、地域・日本のレガシーとなる観光資源を形成することが重要です。本事業では、まず、①史跡の景観や公開、②山城の土質・排水機能、③遊歩道・サイン・トイレ休憩施設に関する現状について現地調査を行うとともに、活用方法やPR活動及び活用と管理の運営に関する現状について整理し、4つの項目（①史跡の公開、②保存・管理、③活用④保存・活用のための運営体制）に係る現状と課題にまとめました。そして、既往の「国指定史跡春日山城跡保存管理計画書（平成21年3月上越市教育委員会策定）」及び春日山城跡整備計画検討会での議論等を踏まえ、整備基本計画案の理念及びそれぞれの課題に対応した4つの基本方針を設定しました。

その結果を、今後の春日山城跡を保存し活用していくための整備を進める指針となる「国指定史跡春日山城跡整備基本計画（素案）」としてまとめましたので概要を報告します。

■現地調査結果■

【史跡の景観や公開状況調査】



○史跡の景観
山城の斜面保護のためにスギの伐採を進めていることで、市街地から山城の曲輪を望むことができるようになっている。



○公開状況
令和6年能登半島地震で生じた天守台の地盤の亀裂を修理した範囲が養生中で立入制限されている。

【土質・排水状況調査】



○土質の状況
岩質が露出している部分と風化した土砂が堆積している部分があり、堆積した土が厚く分布している斜面では崩れる可能性がある。



○排水の状況
雨水が遊歩道へ流入し、表土の流出や遊歩道脇の洗堀が生じている。

【遊歩道・サイン・トイレ休憩施設調査】



○遊歩道の誘導サインやトイレの状況
春日山城跡の魅力が伝えきれていない。

【活用方法やPR活動調査】



○「越後上杉おもてなし武将隊」が活動している。
(出典:越後上越おもてなし武将隊HP)。

■春日山城跡整備計画検討会の開催報告■

計画に関する幅広い知識を聴取することを目的として「春日山城跡整備計画検討会」を設置しました。

開催回	開催年月日	協議事項
第1回 検討会	令和6年 10月11日	1) 史跡春日山城跡の整備等に係るこれまでの取組及び今後の想定フロー等 2) 史跡春日山城跡の現状課題・方針案 3) 活用に関するゾーニングと現状課題・方針案
第2回 検討会	令和6年 12月18日	1) 史跡春日山城跡整備基本計画素案の方向性について 2) 史跡春日山城跡整備基本計画素案について 3) 今後の検討内容の提案について
第3回 検討会	令和7年 2月19日	1) 史跡春日山城跡整備基本計画素案について 2) 施策展開について

■整備基本計画案における基本的な考え方■

- ・史跡そのものの価値を保存・管理し、将来にわたって継承していく。
- ・上杉謙信公が生涯を過ごし、現在までその精神が受け継がれている史跡が記憶してきた歴史と、それらを包含する歴史景観にまで総合的な価値を見出す。
- ・地域住民との連携・協働による愛着・誇りの醸成と観光資源としての積極的な活用による地域活性化を目指す。

■整備基本理念・基本方針■

戦国武将上杉謙信公の精神が息づく春日山城 ～古の心が今に伝わる歴史景観と世界観～



曲輪群

本丸跡

大手道

塹堀跡

1) 史跡の総合的価値を顕在化する方針

史跡保護を図るとともに山城部の往時の山容を復元し、内外からの歴史景観を楽しむ空間を創出する。
ア) 往時の山容の復元
イ) 往時の景観を楽しむ視点場の創出
ウ) 遺構の明瞭化
エ) 発掘調査等の推進
オ) 発掘調査等の公開と情報発信

2) 史跡の総合的価値を保存・管理する方針

史跡保護を図るとともに春日山城跡内の排水性向上や法面保護をし、来訪者の安全性・利便性を向上する。
ア) 斜面の危険性調査の推進
イ) 遺構地形の保護と危険性のある斜面の対策
ウ) 日常的な草刈り・清掃の推進

3) 史跡の総合的価値を活用する方針

地域住民と来訪者がともに史跡を学び理解し、楽しむための機会を創出する。
ア) 活用コンテンツの企画運営の推進
イ) ガイダンス機能の強化
ウ) 春日山城跡のPRの推進
エ) 来訪者と地域住民との交流を推進
オ) 史跡学習活動の機会の推進

4) 史跡の総合的な価値を管理運営していく方針

地域住民の積極的な参加により愛着と誇りを醸成し、地域の経済や文化を活性化させる。
ア) 上越市における市内連携の強化
イ) 管理運営支援団体の連携強化と人材育成
ウ) 産学官民連携の運営体制と参加しやすい仕組みづくりを推進

今回の調査の結果、「謙信公」の魂が眠る春日山城跡を国指定史跡の文化財価値を保存し将来に継承しながら、地域の観光資源として積極的に活用していくための整備基本計画（素案）が示されました。文化財と観光を結び付けながら、地域文化の醸成と発展につなげていくことが望めます。